

松阪の景気動向

令和2年7月調査結果

当所では、松阪地域の景気動向を的確に把握し、今後の商工会議所事業活動の参考とすることを目的に、毎年2回（1月と7月）景況調査を実施している。今回、7月実施の調査結果がまとまった。

調査対象

当所会員事業所から任意抽出した966企業を対象に調査を実施し、回答は455企業、回答率47・1%であった。

業種別回答状況

・ 製造業	22・9%
・ 建設業	16・5%
・ 卸売業	7・3%
・ 小売業	19・6%
・ 飲食業	4・6%

従業員数別回答状況

・ 0～5人	56・5%
・ 6～20人	23・5%
・ 21～50人	11・4%
・ 51～100人	3・7%
・ 101人以上	3・5%
・ 未回答	1・4%

・ サービス業	20・0%
・ 交通運輸業	8・1%
・ 未回答	1・0%

現況について

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	DI値
製造	R2年7月	1.0	6.7	13.5	35.6	42.3	△70.2
	R2年1月	2.0	4.1	43.9	39.8	9.2	△42.9
建設	R2年7月	2.7	6.7	29.3	36.0	25.3	△51.9
	R2年1月	0.0	19.0	47.6	27.0	6.3	△14.3
卸売	R2年7月	0.0	0.0	15.2	30.3	54.5	△84.8
	R2年1月	0.0	8.3	29.2	45.8	16.7	△54.2
小売	R2年7月	3.4	9.0	6.7	32.6	48.3	△68.5
	R2年1月	0.0	11.0	25.3	44.0	19.8	△52.8
飲食	R2年7月	0.0	0.0	9.5	23.8	66.7	△90.5
	R2年1月	0.0	16.7	22.2	50.0	11.1	△44.4
サービス	R2年7月	0.0	5.5	22.0	31.9	40.7	△67.1
	R2年1月	5.9	14.1	40.0	27.1	12.9	△20.0
交通運輸	R2年7月	0.0	2.7	21.6	35.1	40.5	△72.9
	R2年1月	2.9	11.8	50.0	29.4	5.9	△20.6
総合計	R2年7月	1.3	5.7	17.1	33.4	42.2	△68.6
	R2年1月	1.9	11.4	38.3	36.1	12.1	△34.9

① 現況と今後の見通し

(A) 現況
全体では「良い」「やや良い」が7・0%（前回13・3%）、「やや悪い」「悪い」が75・6%（前回48・2%）となり、DI値は△68・6で、前回（△34・9）より33・7ポイント悪化した。

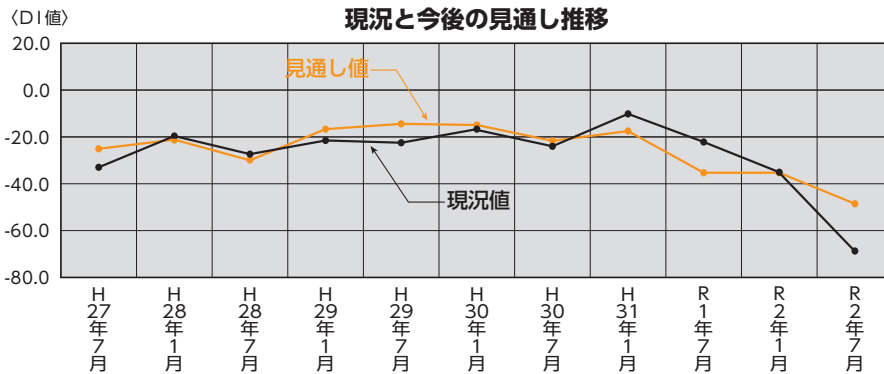
(B) 今後の見通し

業種別のDI値は、全ての業種で悪化した。
全体では「良い」「やや良い」が5・9%（前回9・4%）、「やや悪い」「悪い」が64・2%（前回44・6%）となり、DI値は△58・3で、前回（△35・2）より23・1ポイント悪化した。

※DI値（現況判断指数）について
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

今後の見通し

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	わからない	DI値
製造	R2年7月	0.0	1.9	11.5	30.8	37.5	18.3	△66.4
	R2年1月	1.0	5.1	43.9	32.7	10.2	7.1	△36.8
建設	R2年7月	1.3	8.0	20.0	44.0	17.3	9.3	△52.0
	R2年1月	1.6	14.3	42.9	25.4	6.3	9.5	△15.8
卸売	R2年7月	0.0	0.0	12.1	30.3	48.5	9.1	△78.8
	R2年1月	0.0	8.3	37.5	37.5	8.3	8.3	△37.5
小売	R2年7月	0.0	13.5	9.0	29.2	34.8	12.4	△50.5
	R2年1月	0.0	4.4	27.5	42.9	17.6	7.7	△56.1
飲食	R2年7月	0.0	0.0	19.0	19.0	33.3	28.6	△52.3
	R2年1月	0.0	16.7	16.7	38.9	16.7	11.1	△38.9
サービス	R2年7月	1.1	1.1	20.9	30.8	28.6	17.6	△57.2
	R2年1月	1.2	14.1	37.6	25.9	9.4	11.8	△20.0
交通運輸	R2年7月	0.0	8.1	13.5	16.2	51.4	10.8	△59.5
	R2年1月	0.0	2.9	41.2	35.3	11.8	8.8	△44.2
総合計	R2年7月	0.4	5.5	15.2	30.8	33.4	14.5	△58.3
	R2年1月	0.7	8.7	37.0	33.2	11.4	9.0	△35.2



業種別のD-I値は、小売業は改善の見通し。一方で、小売業以外の全ての業種で悪化を見通している。

② 売上状況と利益状況

(A) 売上状況
全体では「増加」「やや増加」

(B) 利益状況

が6・0%（前回16・4%）、「やや減少」「減少」が77・2%（前回49・1%）となり、D-I値は△71・2で、前回（△32・7）より38・5ポイント悪化した。業種別のD-I値は、全ての業種で悪化した。

全体では「増加」「やや増加」が7・3%（前回13・3%）、「やや減少」「減少」が76・7%（前回51・4%）、D-I値は△69・4で、前回（△38・1）より31・3ポイント悪化した。業種別のD-I値は、全ての業種で悪化した。

③ 販売条件・仕入条件

(A) 販売条件

全体では「好転」「やや好転」は1・9%（前回7・2%）、「やや悪化」「悪化」は49・0%（前回27・3%）、D-I値は△47・1で、前回（△20・1）より27・0ポイント悪化した。業種別のD-I値は全ての業種で悪化した。

(B) 仕入条件

全体では「好転」「やや好転」は2・6%（前回3・3%）、「やや悪化」「悪化」は30・8%（前回27・2%）となり、D-I値は△28・2で、前回（△23・9）より4・3ポイント悪化した。業種別のD-I値は、小売業、交通運輸業で改善した。一方で、製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業は悪化した。

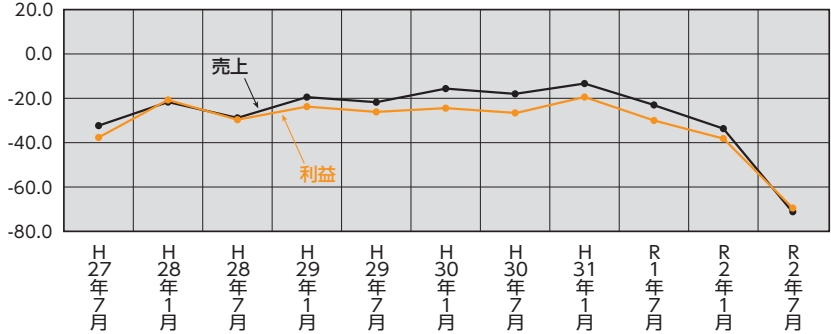
④借入について

(A) 現状 (図1)
 回答企業455社のうち、借入を実施した企業は221社、48・6% (前回178社、43・1%)であった。

(B) 予定 (図2)
 全体では、回答企業455社のうち、借入を予定している企業は151社33・2% (前回75社、18・2%)であった。

(C) 使途予定 (図3)
 全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」77・5% (前回60・0%)、「設備資金」は19・2% (前回33・3%)、未回答3・3%であった。

売上・利益状況の推移

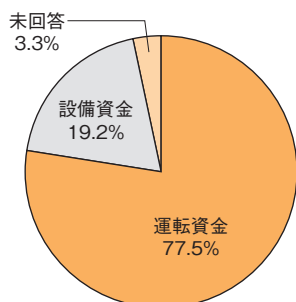


経営上の問題点 (3項目以内複数回答)

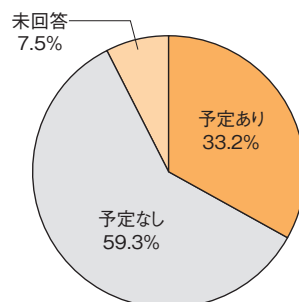
業種	第1位	第2位	第3位
製造	売上・受注の停滞減少 (69.2%)	人材育成 (24.0%)	設備店舗の狭小老朽化 (20.2%)
建設	売上・受注の停滞減少 (56.0%)	人手不足 (30.7%)	競争激化 (29.3%)
卸売	売上・受注の停滞減少 (84.8%)	競争激化 (24.2%)	製品・商品単価の下落 (21.2%)
小売	売上・受注の停滞減少 (60.7%)	設備店舗の狭小老朽化 (24.7%)	競争激化 (23.6%)
飲食	売上・受注の停滞減少 (66.7%)	設備店舗の狭小老朽化 (28.6%)	人手不足 原材料高及び不足 (14.3%)
サービス	売上・受注の停滞減少 (56.0%)	競争激化 (30.8%)	人手不足 (18.7%)
交通運輸	売上・受注の停滞減少 (67.6%)	人手不足 (29.7%)	法的規制等の問題 (21.6%)
総合	売上・受注の停滞減少 (63.5%)	競争激化 (21.1%)	人手不足 (17.4%)
前回	売上・受注の停滞減少 (47.9%)	人手不足 (37.3%)	人材育成 (24.5%)

※ 3項目以内選択

借入資金の使途予定 (図3)
 (R2.7~R2.12)



借入の予定 (図2)
 (R2.7~R2.12)



借入の現状 (図1)
 (R2.1~R2.6)

